

7月8日：マーケットは弱含み、VN 指数は反落

銀行、不動産、素材セクターの優良株が売られ、この日のマーケットはさえなかった。

VN 指数は1% (13.87 ポイント) 安の 1,374.68 ポイントだった。

値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回り、204 銘柄が下落、148 銘柄が上昇、68 銘柄は変わらずだった。

出来高は前日比で減少し、約 20 兆 2,000 億ドン (8 億 7,700 万米ドル) が買い入れられ、売買代金は 5 億 5,230 万株を超えた。

この日の下落は朝方からの大型株への利益確定売りが原因だった。VN30 指数は 1.14% 安の 1,521.21 ポイントとなった。同指数採用銘柄のうち 21 銘柄が下落、7 銘柄のみ上昇、2 銘柄は変わらずだった。

ハノイ市場の HNX 指数も 1.2% 安の 315.98 ポイントだった。

売買高は 1 億 4,000 万株以上、売買代金は約 3 兆 2,000 億ドンとなった。

不動産株は引き続きマーケットの動向に影響を与えた。ノブランド不動産投資グループ (NVL) は 6.1% 下げ、値下がり寄与度でトップとなった。

ビングループ (VIC)、ベトコムバンク (VCB)、ビンホームズ (VHM) がそれぞれ 1.7 ~ 2.63% と下落し、それに続いた。

他にもホアファットグループ (HPG)、ヴィエティンバンク (CTG)、VP バンク (VPB)、ビナミルク (VNM)、ベトナムゴム工業グループ (GVR)、ビンコムリテール (VRE)、ベトジェットエア (VJC) は 1% を超える下落となった。

その一方でマサングループ (MSN) +3.28%、ペトロベトナムガス (GAS) +1.64%、モバイル・ワールド・インベストメント (MWG) +4.04%、ベトナム国際銀行 (VIB) +3.21% といった一部の大型株は上昇した

「現在の株価の動きを念頭に投資家は今後の動きを観察し、マーケットの正しい方向を見つけるのが良い」 (サイゴンハノイ証券のアナリスト)

「先週 利益を確定した投資家は現時点ではロングポジションを取るには慎重になるべきだ。さらに下がるのを待ってから買いを入れるのが良い。それと同時に自身のポートフォリオに大型株を組み入れている投資家も買い増しには慎重になるべきで、株式の投資比率を減らすことも検討していいだろう」（同証券会社の顧客向けデイリーレポート）

また外国人投資家は両市場（ホーチミン、ハノイ市場）で 2,584 億 5000 万ドルを再び売り越した。そのうち、ホーチミン市場で 2,385 億 2,000 万株を、ハノイ市場では 199 億 3,000 万を売り越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。